

2000年3月の東北地方の天候(速報)

【3月の特徴】

- ・多雨(雪)・寡照(東北太平洋側南部を除く)
- ・寒暖の変動が大きい
- ・16日に東北太平洋側で大雪

(1)概況

低気圧が周期的に通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。このため、東北太平洋側では天気は周期的に変化したが、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、日照時間はかなり少なくなった。また、後半を中心に低気圧が北日本を発達して通過することが多く、東北日本海側や東北太平洋側北部では低気圧の影響を受けやすく多雨(雪)となった。

気温は、上空に寒気が入って低温となる日と、移動性高気圧に覆われたり、低気圧に向かって暖かい南風が入って高温となる日があり、寒暖の変動が大きかった。

また、16日には発達した低気圧が三陸沖を通過し、東北太平洋側では大雪となった。

気温は平年並。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側でやや少ない。

(2)天候経過

上旬：前半は、高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が多かった。

後半は、7日に寒冷前線が通過し、その後冬型の気圧配置が続いて、気温は低めに経過した。天気は、東北日本海側では雪、東北太平洋側は晴れの日が多かった。特に、9日は冬型の気圧配置が強まり、山形県では吹雪による交通障害などが発生した。

気温は平年並。降水量はやや少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや多い。

中旬：短い周期で気圧の谷が通過し、気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となった。特に16日は三陸沖を低気圧が発達しながら北上したため、東北太平洋側では大雪となり、ビニールハウスの損壊や交通障害などの被害が発生した。16日の日降雪量は、盛岡26cm、仙台21cm(3月として第4位)、宮古19cm、福島18cmなどとなった。

気温は平年並。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部でやや少ない。

下旬：発達した低気圧が24日と29日に通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。特に24~26日は強い冬型の気圧配置となり、宮城県や福島県では吹雪や強風のため交通障害などが発生した。最大瞬間風速は、白河で31.3m/s(24日)、石巻で25.4m/s(24日)を観測した。また福島県の会津地方では大雪となった。29~30日も宮城県や福島県では暴風によりビニールハウスの損壊などの被害が発生した。最大瞬間風速は、石巻で31.5m/s(29日)、仙台で31.6m/s(30日)、白河で32.3m/s(30日)を観測した。

気温は平年並。降水量はやや多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側でやや少ない。

(3)月統計値の極値・順位の更新(月平均気温、月降水量、月日照時間、月最深積雪の3位まで。但し白河の月降水量は統計期間が短いため、1位に該当した場合のみ示す。)

<月降水量の多い値>

第1位 新庄 189.0mm

<月日照時間の少ない値>

第1位 新庄 81.3h

酒田 87.1h

本資料のデータは速報値です。確定値は16日に決定します。

本件に対する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係(電話：022-297-8110)

表.月気候値表(2000年3月)

地 点	月平均気温(平年差)		月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)			月最深積雪		
	階級		mm	%	階級	h	%	階級	cm	階級	
青森	1.7	(+0.2)	平年並	108.0	(131)	かなり多い	106.5	(74)	かなり少ない	85	平年並
深浦	2.4	(+0.0)	平年並	129.5	(155)	かなり多い	81.3	(68)	かなり少ない	59	かなり多い
むつ	1.1	(+0.0)	平年並	104.5	(136)	やや多い	119.5	(76)	かなり少ない	51	---
八戸	2.1	(+0.1)	平年並	80.5	(165)	やや多い	164.7	(92)	やや少ない	18	平年並
秋田	3.2	(+0.4)	平年並	115.5	(118)	やや多い	92.3	(66)	かなり少ない	64	かなり多い
盛岡	1.3	(-0.2)	平年並	122.5	(151)	かなり多い	149.7	(86)	やや少ない	27	平年並
宮古	3.0	(+0.2)	平年並	128.5	(156)	やや多い	180.8	(96)	平年並	31	やや多い
大船渡	3.3	(+0.1)	平年並	126.0	(145)	やや多い	154.3	(88)	やや少ない	5	平年並
山形	2.8	(+0.2)	平年並	60.5	(92)	平年並	119.5	(80)	かなり少ない	44	やや多い
新庄	1.6	(-0.7)	---	189.0	(189)	---	81.3	(77)	---	114	---
酒田	4.2	(+0.3)	---	119.0	(114)	---	87.1	(66)	---	24	---
仙台	4.6	(+0.4)	平年並	54.5	(80)	平年並	183.5	(99)	平年並	20	かなり多い
石巻	3.8	(+0.3)	平年並	73.0	(110)	平年並	192.6	(100)	平年並	3	やや少ない
福島	4.7	(+0.2)	平年並	104.0	(152)	やや多い	181.1	(98)	平年並	15	やや多い
白河	3.3	(+0.0)	平年並	71.5	(***)	---	185.6	(99)	平年並	7	---
小名浜	6.4	(+0.6)	やや高い	80.0	(78)	平年並	217.8	(114)	やや多い	-	平年並
若松	2.3	(-0.2)	平年並	109.0	(151)	やや多い	126.0	(89)	やや少ない	31	平年並

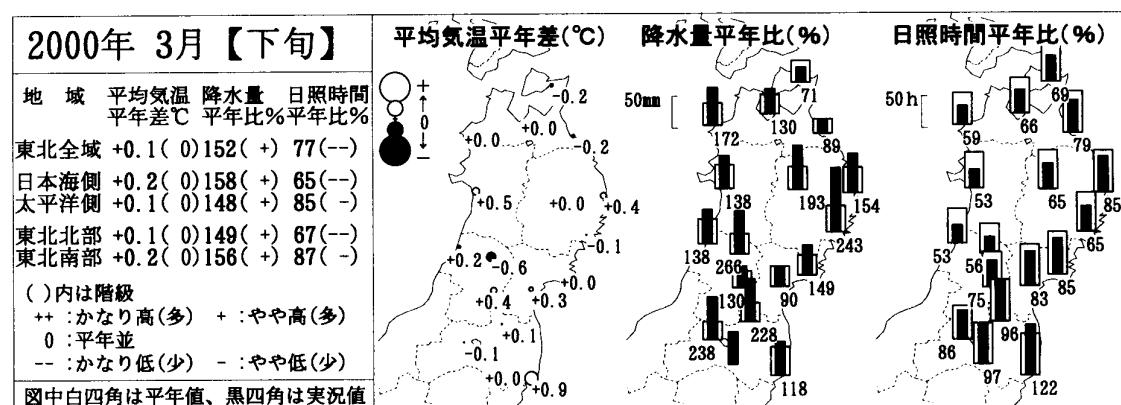
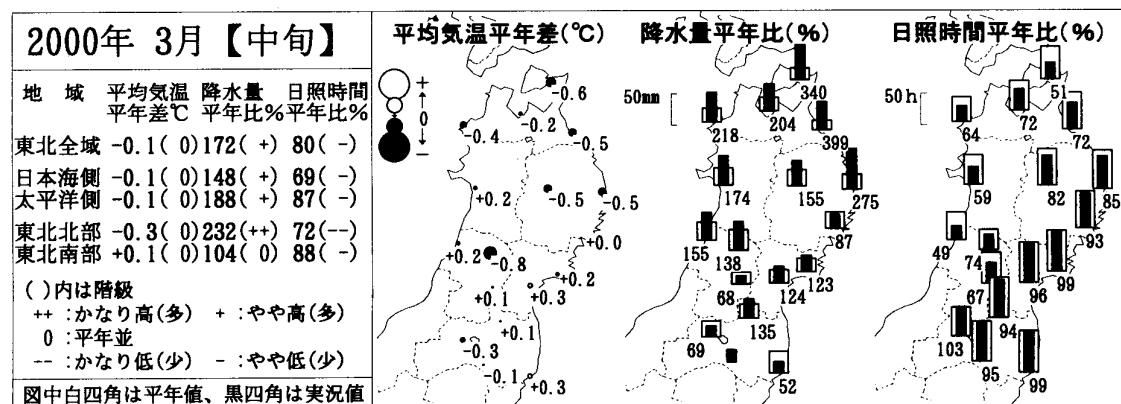
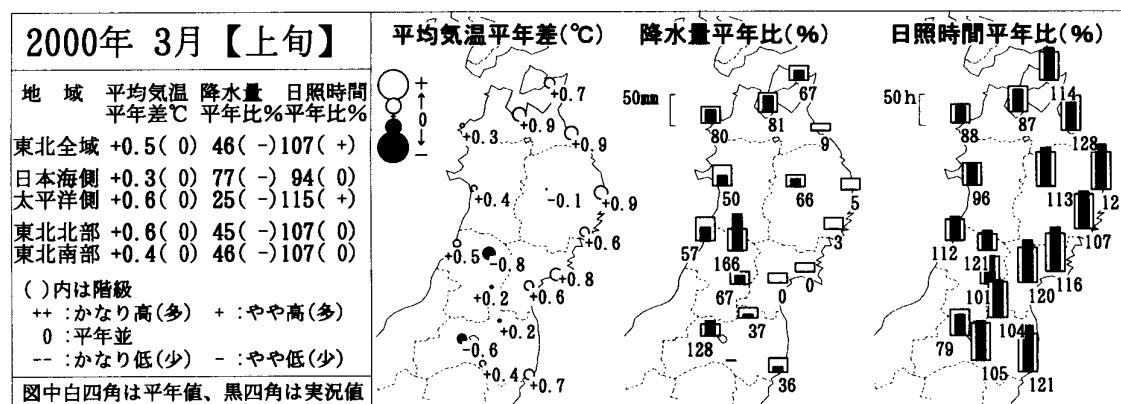
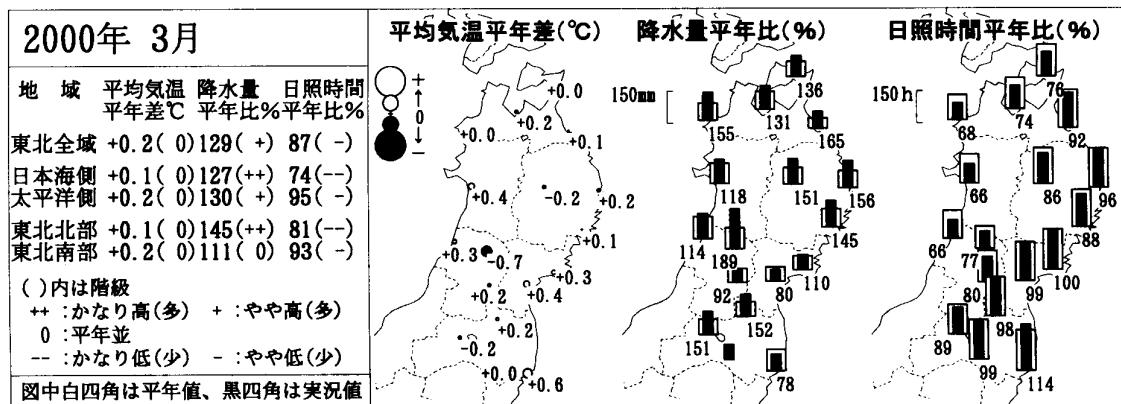
× : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし *** : 統計期間が 8 年に満たないため平年値がない。

--- : 統計期間が 24 年に満たないため階級区分値がない。

(酒田は準平年値(1971 ~ 1990 年)、新庄は累年平均値(1986 ~ 1996 年)との差(比)を示す)

階級は「かなり低い(少ない)」「やや低い(少ない)」「平年並」「やや高い(多い)」「かなり高い(多い)」の 5 階級に区分されています。それぞれの階級幅は、1961 ~ 90 年の 30 年間において出現した値を小さいほうから、10% (3 個)、20% (6 個)、40% (12 個)、20% (6 個)、10% (3 個) に区分し、階級の境界値は下位の階級の最大値と上位の階級の最小値を平均した値としています。統計年数が 24 年以上 30 年未満の場合についても同様の割合で区分されていますが、24 年未満の場合には階級区分がありません。

図. 2000年3月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1961～'90年。但し酒田は準平年値(1971～'90年)、新庄は累年平均値(1986～'96年)を使用。
白河の降水量は統計期間が短く、平年値が無いので実況値を表す黒四角のみ表示する。